

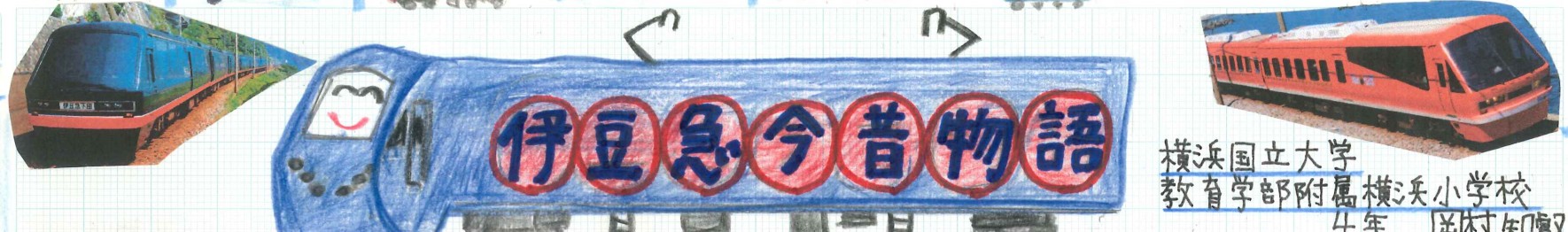
来宮

熱海



伊豆急下田運台寺

伊豆急賀相代



横浜国立大学 教育学部附属横浜小学校 4年 岡村 矢吹

ぼくの祖父は伊豆急行の電気課で仕事をしていた鉄道マンです。小さいころから「スーパービュー踊り子」を見ては「いいの電車！」と言っていてうれしい気持ちでいました。開業からもうあぐ60周年を迎える伊豆急行は、JR伊東線伊東駅を記点に、伊豆急下田駅までの45.7kmの路線の中にトンネルが31カ所、橋が173カ所存在していて、伊豆七島を望む海岸線のほかには斜面の中腹に駅があるなど、平野部を走ることがほとんどない国内でも非常に珍しい路線です。色々な特徴ある車両があって伊豆へ多くの観光客を運んでいます。ここに至るまでには本当に様々な苦労があることを知りました。そこで今回は伊豆急行の歴史とこれからの伊豆急行について新聞にまとめました。

### 伊豆急行の歴史

国の政策の一つとして明治時代より「国鉄予定線」があり、伊豆縦貫線構想があったものの、構想から相当遅れた昭和13年に熱海-伊東間の「国鉄伊東線」が開通し、その後、昭和31年に東京急行電鉄が伊東-下田間の鉄道施設免許を申請。それから2年の月日をかけて「伊東下田電気鉄道(株)」に免許が交付されました。免許の交付にあたっては、建設工期がたったの2年という条件もありました。

### 難工事

わずか2年という非常に困難な条件でルートを選定・測量・用地の買収などを並行して行いながら全線を10カ所に分けて工事を進行していく必要がありました。その中でも伊豆特有の温泉地でのトンネル掘削工事は、作業によって温泉が出なくなったり、温泉予土のやっかいな性質で何度も掘り直しをしたり、更には落盤事故によって多くの作業員が亡くなるなど困難を極めました。

### 開業

伊豆の住民にとって長年の夢であった鉄道の開通によって、伊豆半島南部の今まで埋もれていた多くの観光資源である温泉地や海水浴などが日の目を見ることになり、旅館やホテル・別荘地、ロープウェイや遊覧船など関連会社が次々と誕生し、伊豆ブームが訪れ、現在に至っています。



### 100系

昭和36年に初代伊豆急行車両として作られた伊豆急行の歴史そのものである車両です。伊豆の海と同じハワイアンブルーのカラーで両方に運転台があるのが特徴です。

車両図鑑

### 踊り子

### 9000系

東急東横線で活躍した車両です。伊豆急行の車両の中で一番数が多く、全部で45両あります。



### スーパー踊り子

昭和56年から活躍する伊豆の定番電車です。



平成2年にデビューした観光特急で大きな窓・視晴らしのよいハイデッカーとダブルデッカー編成により伊豆の景色を楽しめる車両です。

### 伊豆丸

平成29年より小田原-伊豆急下田間を運行。完全予約制の車両では、伊豆の景色を眺めながら食事を味わえます。



### 2100系リゾート21 きんめ電車

リゾート21の3番目に作られた車両です。伊豆の特産品である「金目鯛」をモチーフにしています。



### マカイクスプレス踊り子

平成24年より、成田エクスプレスと同じ車両を用いて運行しています。



### 2100系リゾート21 黒船電車

リゾート21の4番目に作られた車両です。黒の車体で熱海-伊豆急下田間を走行していますが、ロイヤルボックスを連結して東京駅から走行することもあります。



### THE ROYAL EXPRESS

平成29年より、アルファリゾート21を改造して作られた完全予約制の観光列車で、横浜-伊豆急下田間を走行します。



### 編集後記

伊豆急行が出来るまでの苦労や僕のおじいちゃんがどのような仕事をしてきたのか沢山知りました。「ロイヤルエクスプレスや新型特急マカイクスプレスや世界観光客にも発信したり、これまで通り家族や友人と楽しめる伊豆観光のために、主カの「リゾート21(おX電車・黒船電車)」を用いて、様々な企業とコラボレーションした企画も行っていくそうです。お話を聞かせて頂いた伊豆急行の関谷さん、ありがとうございました。



伊豆大川



伊豆北川



伊豆熱川



宇佐美

伊東

南伊東

川奈

富戸

城崎海岸 伊豆高原

稲梓

河津

伊豆稲取

今井浜海岸

伊豆稲取

伊豆稲取

片瀬白川